

平成 29 年度 ギャンブル等依存症セミナー（第 8 回「知る、分かる、考える、
統合型リゾート（I R）セミナー」）講演要旨

講演：「統合型リゾート（I R）設置により懸念されるギャンブル等依存症などに
関するセミナー」

講師：I R 推進局職員

1. 統合型リゾート（I R）とは？

○カジノ施設と観光振興に寄与する諸施設（ホテルや国際会議場・展示場、エンターテインメント施設等）が一体となっている施設群であり、民間事業者が一体的整備・運営を行い、カジノ施設により効率的に資金を回収し、大規模な投資を伴う施設の採算性を担保するしくみとなっている。

2. 日本での I R 導入及び大阪での I R 誘致に向けた動き

○2016 年 12 月に「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（I R 推進法）」が成立し、それを受けて国では、「特定複合観光施設区域整備推進会議（I R 推進会議）」を立ち上げて様々な議論を行い、2017 年 7 月末に取りまとめを行った。今後、I R 推進法成立 1 年以内に必要な法制上の処置を講じるとしている。

○大阪府市では、2010 年から取組みを進めており、I R 推進法の成立を受け、2017 年 3 月に府市 I R 推進会議を設置、4 月には I R 推進局を発足し、府市一体で I R 誘致実現に向けた取組みを進めている。

3. 日本・大阪を取り巻く状況や大阪の課題、大阪・夢洲のポテンシャル、I R の必要性

○経済の長期停滞や人口減少・高齢化社会に伴う労働力不足の一方、訪日外国人の増加といった状況の中、大阪では 1 人当たり名目府内総生産が東京の 6 割程度であり、製造業や卸業等における事業所数・従業者数は減少の一途をたどっている。

○一方、大阪・関西には、世界遺産・文化財といった観光資源が非常に豊富である等、様々なポテンシャルがあるとともに、大阪が I R 誘致を考えている夢洲は、関西の中心に位置し、広大な用地の確保や、海上を活かした非日常空間を創出できるロケーション等、非常に高いポテンシャルを有しており、大阪が抱える課題の解決や、大阪・関西の持続的な経済成長に繋げるため、I R を核とする国際観光拠点の形成に取り組んでいきたい。

4. 大阪 I R の基本コンセプト、めざす姿

○基本コンセプトとしては、世界の幅広い層をターゲットとする「世界最高水準」、50 年・100 年先を見据え、施設、機能が更新され続ける「成長型」といった視点を踏まえ「世界最高水準の成長型 I R」とし、めざす姿としては、「夢と未来を創造する I R」、「ひろがり・つながりを生み出す I R」、「夢洲」を活かす I R が成長の方向性である。

○この3つの方向性のもと、独創性に富む国際的エンターテインメント拠点の形成や、オールインワン MICE 拠点の形成といった4つの柱を大阪の I R で実施していきたい。

5. 懸念事項の最小化への取組み（ギャンブル等依存症対策、治安・地域風俗環境対策）

○ギャンブル等依存症対策については、I R 開業後にギャンブル依存症有病率が大幅に減少しているシンガポールの対策例を見ると、専門機関による規制や、治療・カウンセリングを行う組織を設置したほか、カジノ入場規制等の様々な対策を講じた。大阪においても有効な対策を講じることで、ギャンブル等依存症の抑制が可能と考えている。

○国の I R 推進会議の取りまとめでは、懸念事項への対策についても記載されており、ギャンブル等依存症や青少年の健全育成の観点から整理されている内容について、「総論」では、「重層的／多段階的取組の必要性」としてゲーミングに触れる機会の限定等や、「公共政策上の制度整備を事業者責任とのベストミックス」という考え方、「金融業務の規制」として、顧客への金銭貸付業務の規制や、カジノ敷地内における ATM の設置禁止、「広告、勧誘、カジノ施設内関連業務の制限」として、カジノ広告の誇大、虚偽広告等の禁止や、20歳未満の者に対してビラ等の頒布、勧誘の禁止についての方向性が打ち出された。また、「入場規制の導入」として、20歳未満の者のカジノ入場の禁止、マイナンバーカードを活用した本人確認や入場回数制限の導入、「入場料の賦課等」として、外国人旅行者以外の者に対して、1日単位で入場料を課すとしている。加えて、事業者が実施する依存症防止措置の義務付けとして、従業員教育の実施や内部管理体制の徹底等といった方向性が打ち出された。

○また、国のギャンブル等依存症対策推進関係閣僚会議においても、既存ギャンブルにおけるギャンブル等依存症対策の強化について2017年8月に取りまとめを行い、事業者の相談窓口の設置、パチンコにおける出玉規制の基準等の見直し、「医療・回復支援」としてギャンブル等依存症の実態調査、治療・相談体制の拡充及び人材育成の取組み、高等学校の学習指導要領解説でギャンブル等依存症の問題も着手する方向性等、様々な内容が取りまとめられた。

○大阪府市では、I R 実現を契機に、世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的かつ途切れのない取組みを構築し、依存症対策のトップランナーをめざすとともに、エリア（カジノ施設、夢洲、府内全域）毎にメリハリの効いた支援、対策を実施していく。

○治安・地域風俗環境対策については、I R 事業者、警察、自治体が相互に緊密な連携を図り、それぞれの役割を果たすことにより、万全の取組みを実施するための検討を進めている。

6. I R 立地による効果

○一大観光拠点・MICE 拠点の形成に伴う新たな消費需要の増加等により、大きな経済波及効果や雇用創出効果が考えられる。また、納付金・入場料等を観光振興等や、懸念事項対策の財源として活用し、しっかりとした対策を打ちたてていくことが必要と考えている。

7. 地域の合意形成（府民・市民理解の促進）に向けた取組み、スケジュール

○I R 誘致にあたっては、今後も I R について正しい情報発信を行い、理解を深めていただく取組みを継続し、現時点での想定であるが、2024年度までの I R 開業をめざしている。